

平成 24 年度各地区協会活動状況報告

東海北陸地区（名古屋大学）

1. 国立大学関係

（1）東海北陸地区国立大学附属図書館長懇談会

平成 25 年 2 月 21 日（木）名古屋大学附属図書館において開催され、電子ジャーナル関連の動向、図書館員表彰、東海地区大学間学術資源活用事業（仮称）等について広く意見交換を行った。

（2）東海北陸地区国立大学図書館協会事務連絡会

平成 24 年 11 月 29 日（木）名古屋大学附属図書館において開催され、法人カードによる Pay per View の利用、職員の表彰、第 60 回国立大学図書館協会総会について協議を行うとともに、国立大学図書館協会理事会、国公立大学図書館協力委員会、国立七大学附属図書館協議会及び東海地区大学図書館協議会の活動について報告が行われた。

（3）東海北陸地区国立大学図書館協会総会

平成 25 年 4 月 26 日（金）北陸先端科学技術大学院大学附属図書館を当番館として開催され、会長館の選出に続いて、第 60 回国立大学図書館協会総会に向けた準備事項（平成 25 年度地区選出の理事館・監事館、ワークショップで扱うテーマ、平成 24 年度地区協会活動状況報告）、フレッシュ・パーソン・セミナーの開催等について協議した。

（4）地区研修会（地区助成事業）

日 時：平成 25 年 3 月 14 日（木）

場 所：名古屋大学附属図書館多目的室

参加者：24 機関 44 名

テーマ：「学習支援の始め方 ～大学で「学ぶ力」の育成を支援する～」

基調講演：「大学で学ぶ力 ～「予測困難な時代」におけるリテラシー～」

（東京大学大学院情報学環・学際情報学府准教授 山内祐平氏）

ワークショップ：「学習科学入門ワークショップ」

（静岡大学大学院教育学研究科准教授 益川弘如氏）

2. 国公立大学関係

（1）東海地区大学図書館協議会第 66 回総会・研究集会

平成 24 年 8 月 2 日（火）中京大学において開催され、午前中は平成 23 年度事業報告、決算報告、平成 24 年度事業計画案、予算案等についての協議、国公立の各大学図書館活動状況の報告及び永年勤続者の表彰が行われた。

午後は、下記の研究集会被開催された。

テーマ：「大学図書館の有効利用ーこの一工夫が大切だー」

事例報告：「もっと使える最近のNII 学術コンテンツサービスー
CiNii, KAKEN を中心に」

(国立情報学研究所学術基盤推進部学術コンテンツ課
コンテンツチーム係長 服部綾乃氏)

事例報告：「新図書館構築にあたっての工夫と今後の中央図書館の展望」

(愛知学院大学図書館情報センター事務長 足立祐輔氏)

(2) 研修会

①東海地区大学図書館協議会研修会 第1回

日 時：平成24年12月13日(木)

場 所：名古屋大学附属図書館多目的室

参加者：29機関60名

テーマ：「海外大学図書館にみる学習支援」

報 告：「香港、シンガポール、オーストラリアの大学図書館における
ラーニング・コモンズの整備及び学習支援の現状」

(金沢大学大学教育開発・支援センター准教授 山田政寛氏
三大学連携事業による海外大学図書館調査チーム
香港・シンガポール：橋 洋平氏(金沢大学)、
森部圭亮氏(静岡大学)、仲秋雄介氏(名古屋大学)
オーストラリア：池上佳芳里氏(金沢大学)、
高橋里江氏(静岡大学)、神谷知子氏(名古屋大学))

講 演：「大学図書館が実施する学習支援・教育支援サービス 北米の事例
から見えるもの」

(三重大学附属図書館研究開発室准教授 長澤多代氏)

パネルディスカッション：

(コーディネーター：名古屋大学高等教育研究センター
准教授 近田政博氏)

②東海地区大学図書館協議会研修会 第2回

日 時：平成25年3月13日(木)

場 所：三重大学環境・情報科学館 PBL 演習室6

参加者：24機関24名

テーマ：「図書館資料の補修について」

講 義：「図書館における資料保存の基本的な考え方」

(国立国会図書館収集書誌部資料保存課 大竹 茂氏)

実 習：「簡易な補修ー破れのつくろい、外れたページの差し込み」

(国立国会図書館収集書誌部資料保存課 大竹 茂氏)